

14. 東京都北区飛鳥晴山苑地域包括支援センター(令和2年度)

北区は、総人口352,914人、高齢者人口87,120人、高齢化率24.6%であり東京都23区内で第2位の高齢化率の高い区となっている。当センターの総人口22,581人、高齢者人口5,611人、高齢化率24.8%（令和3年2月現在）であり高齢者世帯、高齢者の単身世帯も多く高齢者の孤立化などが問題となっている。この問題を解決するには、「自助」「公助」だけではなく、地域の力を活かした「互助」の重要性がますます高まっている。北区では、高齢者世帯、一人暮らし高齢者の見守り活動を行っている町会、自治会に対し見守り体制の連携強化を図る事業を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言の発令などから見守り活動がしにくい状況ではあったが感染予防を行い工夫しながら地域の見守り活動を実施されていた。更に当センターも町会・自治会と連携を図り早期に相談対応にあたるよう取り組んだ。令和2年度は、職員間の新型コロナウイルス感染症防止にも配慮した勤務体制で業務にあたった。例年実施している「認知症サポーター養成講座」「介護予防ではつらつサロン」等の不特定多数の方が集まる様々な事業が概ね中止となった。しかし、こうした状況下であったからこそ新たにに取り組むことが出来た事業があった。それは「オレンジわんわんパトロール隊」発足である。飛鳥晴山苑の施設に隣接している「西ヶ原みんなの公園」周辺には多くの愛犬を散歩されている方がいる。毎日の習慣となっている愛犬の散歩の時に気になった高齢者（認知症の方が迷っているなど）がいた際に当センターに連絡していただく登録制のネットワーク事業である。これは、愛犬の散歩をする老若男女問わず自然と緩やかな見守り活動につながると考え積極的に取り組んだ。

●事業実績

1. 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防ケアマネジメント事業の取組として当センターの介護予防拠点施設と高齢者の方が住み慣れた地域で元気で自立した生活を過ごせるようコロナ禍での介護予防に関する取り組みなど情報交換、共有し連携を図った。また、コロナ禍で活動休止となっている介護予防の自主グループ団体へ感染予防策や自宅でのセルフトレーニングのテキストや活動可能な会場案内等を数回に分けて郵送にて発信。

表1. 令和2年度 地域支援事業参加人数

対象者・自主活動	事業名	実施件数
二次予防対象者	おたっしや事業	21件
	介護予防通所事業	4件
一次予防対象者	介護予防で元気はつらつサロン (2回開催)	17名
介護予防活動対象者	自主グループ活動団体	13団体

表1. おたっしや事業は、例年前期、後期と約半年間の介護予防教室を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により前期は中止、後期は実施するも途中で終了となった。後期参加者が継続して介護予防が行えるよう当苑内デイサービスセンターあすか（リハビリ）の協力を得て後方支援に取り組んだ。

② 介護予防支援事業

介護予防ケアプラン作成件数は前年度3351件だった。

表2. 令和2年度 要支援1・2（ケアプラン作成件数）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	128	138	144	146	138	141	144	141	137	137	141	139	1674
要支援2	124	130	133	133	136	136	135	133	128	129	129	129	1575
合計	252	268	277	279	274	277	279	274	265	266	270	268	3249

2. 総合相談支援事業

表3-1. 令和2年度 総合相談支援件数（延べ）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規件数	15	14	17	19	20	18	9	13	10	23	12	15	185
件数	414	503	563	621	623	695	584	669	597	656	585	620	7130

表3-2. 令和2年度 相談内容別件数（延べ）

①介護保険制度・サービスに関すること	3457
②施設入所に関する情報提供等	135
③経済的問題に関すること	195
④医療・保健に関すること	954
⑤認知症等、精神疾患に関すること	686
⑥成年後見制度に関すること	99
⑦虐待（疑い含む）に関すること	284
⑧保健福祉制度・サービスに関すること	554
⑩ケアマネ支援	391
⑪その他	3653
合計	10408

※各相談項目の件数は、増加傾向であった。特に「認知症、精神疾患に関すること（前年290）」「虐待（疑い含む）に関すること（前年240）」「経済的問題に関すること（前年127）」の項目が圧倒的に増加。コロナ禍の生活で高齢者の外出自粛による身体機能、認知機能の低下や介護者の就労がテレワークに変化し要介護者と過ごす時間が増加することで関係性の悪化、また介護者の失業等などによる収入減など様々な要因が上記相談内容に影響しているのかと推測できる。高齢者虐待に関し複合的な支援も問われ社会福祉士が主導となり他専門職とチームアプローチを図り更に行政等の他機関へ積極的に協力要請、連携を行い高齢者、養護者への対応に取り組んだ。

表4. 令和2年度 委託事業実績

事業名	回数	実施月
連絡会・会議		
高齢者あんしんセンター長会	2	6・2月（オンライン連絡会含む）
地域包括支援センター連絡会	9	7・8・9・10・11・12・1・2・3月 （オンライン連絡会含む）
社会福祉士連絡会	1	9月
主任ケアマネ連絡会	3	6・10・2月（オンライン連絡会含む）
看護職連絡会	3	7・11・3月（オンライン連絡会含む）
生活支援体制整備事業連絡会	4	6・8・11・1月
滝野川圏域地域包括支援センター連絡会	4	6・9・12・3月（第4木曜日）
地域包括支援センター事業評価（ヒアリング）	1	10月
介護予防事業担当者連絡会	3	9・10・3月
介護予防事業評価検討会	1	2月
認知症事業連絡会	2	10・3月
総合相談支援事業		
家族介護者教室	1	12月
認知症サポーター養成講座	3	11・12（2回）月
認知症サポーター養成講座（事業者向け）	1	11月
認知症サポーター養成講座（圏域）	中止	新型コロナ感染症防止の為
認知症サポーターステップアップ全体交流会	中止	新型コロナ感染症防止の為
認知症サポーターステップアップ（単独）	中止	新型コロナ感染症防止の為
認知症サポーター交流会（単独）	中止	新型コロナ感染症防止の為
ものわすれ相談	中止	新型コロナ感染症防止の為
地域の担い手づくり講演会	中止	新型コロナ感染症防止の為
介護予防講演会/見守り・支えあい活動発表会	中止	新型コロナ感染症防止の為
ふれあい交流サロン（ひだまりサロン）	11	7・8・9・10・11・12月 毎月第1・第3水曜日（新型コロナ感染症 防止の為中止する月等あり）
ふれあい交流サロン（さくらのしずくカフェ）	中止	新型コロナ感染症防止の為
介護予防で元気はつらつサロン	2	8・9月
オレンジカフェ（認知症カフェ）	12	7・8・9・10・11・12月
在宅医療・介護連携推進事業		
サポート医事例検討会	中止	新型コロナ感染症防止の為
顔の見える連携会議	中止	新型コロナ感染症防止の為
権利擁護事業		
障害者・高齢者虐待防止啓発講演会	中止	新型コロナ感染症防止の為
虐待対応スキルアップ研修	1	9月（期限付き動画配信）
包括的・継続的ケアマネジメント事業		
令和2年度北区介護支援専門員研修	3	7・9・10月
北区おたがいさま地域創生会議	1	3月
地域ケア個別会議	1	3月
地域包括ケア連絡会（圏域・地域ケア会議推進会議・協議体2層）	1	11月
その他		
オレンジわんわんパトロール隊立ち上げ	1	11月
情報セキュリティ研修	1	3月
ひだまりフィットネス（介護予防体操教室）	中止	新型コロナ感染症防止の為
GH運営推進会議・地域密着DS運営推進会議	5	9・11（2回）・12・3月
認知症啓発活動	中止	新型コロナ感染症防止の為
総合的な防災診断（高齢者宅訪問）	中止	新型コロナ感染症防止の為
地域交流活動（運動会、小学校祭り、商店街納涼祭等）	中止	各事業新型コロナ感染症防止の為
飛鳥晴山苑 納涼祭	中止	新型コロナ感染症防止の為
実習生受け入れ（高等看護学院）	中止	新型コロナ感染症防止の為